

【追補のお知らせ】

法改正やガイドライン改訂、製品の販売中止等に伴い、以下の内容を変更いたします。ご確認のほど、よろしくお願い致します。

P91 <化審法の規制対象物質>

第一種特定化学物質（34物質）2023（令和5年）年4月現在

代表的な規制物質	有機スズ化合物である ビス(トリブチルスズ)オキシド (TBTO) に加え、塩素系化合物が多い（ ポリ塩化ビフェニル (PCB) 、ポリ塩化ナフタレン (PCN)（塩素数が3以上のものに限る）、 ヘキサクロロベンゼン (HCB) 、 アルドリン 、 ディルドリン 、 エンドリン 、 DDT 、 クロルデン類 など）。他にフッ素系化合物（ ペルフルオロ(オクタン-1-スルホン酸) (PFOS) 、 ペルフルオロ(オクタン-1-スルホニル)フルオリド (PFOSF) ）、 ペルフルオロオクタン酸 (PFOA) 、 臭素系化合物 も対象となる。
----------	--

P198

<肝炎ウイルスの種類>

ウイルス	遺伝子	感染経路	慢性化率
A型肝炎ウイルス (HAV)	RNA	経口感染	ほぼ0%
B型肝炎ウイルス (HBV)	DNA	血液・体液感染	10%
C型肝炎ウイルス (HCV)	RNA	血液・体液感染	70%

P199 <ウイルス性肝炎治療薬>

(2) C型肝炎治療薬

<p>3. 複製阻害薬</p> <p>レジバスピル</p> <p>ソホスビル</p> <p>グレカブレビル</p> <p>ビブレンタスピル</p> <p>ヘルパタスピル</p>	<ul style="list-style-type: none"> レジバスピルやビブレンタスピル、ヘルパタスピルはHCV-NS5A（複製複合体）を阻害し、HCVの複製を阻害する。 ソホスビルはHCV-NS5B（RNA依存性RNAポリメラーゼ）を阻害し、HCVの複製を阻害する。 グレカブレビルはNS3/4Aプロテアーゼを阻害し、抗ウイルス作用を示す。 インターフェロンの併用は不要である。
---	---